

第6回ワークショップ 「ブロックプランを考えよう」 改修後の市民センターの 部屋の配置を考える！



令和4年5月15日(日)、第6回「狛江市民センター改修を考える市民ワークショップ」を開催し、総勢15名の方にご参加いただきました。

現在、狛江市では市民センターの改修、新図書館の整備について検討を進めており、本ワークショップは、改修後の市民センターに導入される機能やスペース等についてご意見をいただくことを目的としています。

今回のテーマは、「ブロックプランを考えよう」。ワークショップのはじめには、市民センターの利用状況のおさらいや、今までの基礎調査や市民意見等をふまえたブロックプラン案の説明を行いました。

グループワークでは、ブロックプランの案を基に、より良い施設とするための部屋の配置について考えていただきました。

グループワークの後には、各チームで話し合った内容を発表していただきました。

市民ワークショップでのご意見（一部抜粋）



こいのぼり チーム



- 1階A案 ・市民活動支援センターとのコラボレーションを検討すべき
- ・図書コーナーの事務室はカウンターとしたい ・オープンテラスは屋根付き
- ・図書館職員を利用者と同じ空間にも配置し、対人サービスの向上
- 1階B案 ・図書コーナーのセキュリティに課題がある
- ・公民館と市民活動支援センターの事務機能は一体化できないか
- ・総合事務室は良いアイデア、事務室はオープンに ・職員配置の合理化
- ・フリースペースと市民活動支援センターをコラボレーションさせる
- ・オープンテラスはジャックポットのテイクアウトを利用できるようにする
- 2階 ・スタディコーナーはいつでも使える場所に別の建物に設ける
- ・「講座室」という名称は残し、普段から椅子や机が並んでいる部屋とする
- ・100㎡程度の部屋を残す ・会議室のスペースが減っているのではないかと
- ・和室は茶道ができるような空間にする
- 地下1階 ・キッチンスタジオは明るい場所にして食事スペースを確保

- 1階A案 ・図書館は市民センターに残して床面積を増やす
- ・駄倉側に児童書コーナー+商工会議所を設置
- ・市民活動支援センターは窓口のみ設ける
- 1階B案 ・フリースペースや事務室の配置、市民活動支援センターがフリースペースとなることからB案の方が良い
- ・テラスから直接建物に入れるように ・オープンカフェを設ける ・増築を行う
- 2階 ・多目的室(小)が小さすぎる⇨賛成の人もいた
- ・音楽や踊りなどの利用を考えると多目的室の間仕切りは固定の壁としたい
- ・テラスを活用する
- 地下1階 ・部屋名称は日本語に ・多目的ホールの可動間仕切りは反対

かしわもち チーム



- 1階B案 ・B案ベースで考えたい ・事務所がまとまっているのが良い
- ・市民活動支援センターが閉まった後の時間、そのスペースを活用したい
- ・コミュニティスペースに情報コーナーを設置 ・保育室を1階に設置
- 2階 ・講座室を小さくしないため、スタディコーナーと入れ替える
- ・スタディコーナーはフリースペースに ・図書館ボランティア室を2階に設置
- ・和室が狭くなるのは問題ないか ・会議室の分割は使いにくいのではないかと
- ・ストレッチャー対応のエレベーター ・テラスには屋根を設置
- 地下1階 ・倉庫スペースを確保、会議はフリースペースを利用
- ・キッチンスタジオを移動、ティーンズラウンジは年齢層を限定しない
- ・ティーンズラウンジは平日午前中は親子が利用できるスペースに、子どものために部屋の半分を小上がりに
- ・クラフトスタジオは理科教室にも使いたい ・楽器とカラオケを区別した防音方法
- ・若者の様子を見てくれるユースワーカーの設置

次回予告！

第7回のワークショップは、6月12日(日)に開催予定です。テーマは「市民センター改修基本構想(案)～新しい市民センターの使い方を考えよう～」です。

ワークショップの開催予定や実施内容については、狛江市のホームページに掲載しています。詳しくは、右の二次元コードよりご確認ください。ワークショップの全ての意見が載っている全録版もこちらからご覧ください。

